

オキサリプラチンの治療を
受けられる患者さんへ



Contents

はじめに	3
オキサリプラチンについて	4
オキサリプラチンを用いた抗がん剤治療	5
化学療法を受けられる前に	10
オキサリプラチン点滴中の注意事項	11
副作用について	12
オキサリプラチンの主な副作用	13
組み合わせて使用する薬の主な副作用	18
分子標的薬の主な副作用	21

はじめに

大腸(直腸)がんの薬物療法を受けることになり、効果もさることながら、どのような副作用があるのか大変ご心配のことと思います。

この冊子はオキサリプラチンを含んだ抗がん剤治療の具体的な投与方法について記載されています。

オキサリプラチンはシスプラチンなどの他のプラチナ系抗がん剤と異なり、大量の補液の必要はなく、外来での治療が可能です。入院しないでよいという利点はありますが、副作用の出現には注意が必要です。

この冊子はそれぞれの治療法に関連した副作用の内容や予防法についても非常にわかりやすく記載されています。強い副作用が出現して治療スケジュールが延期になったり、入院が必要になったりする場合がありますので、予防できる対策は積極的に取り入れてください。

ジェネリック医薬品は価格が安いだけでなく、患者さんやご家族に安全で安心した治療が受けられることを願ってこの冊子を作成しました。

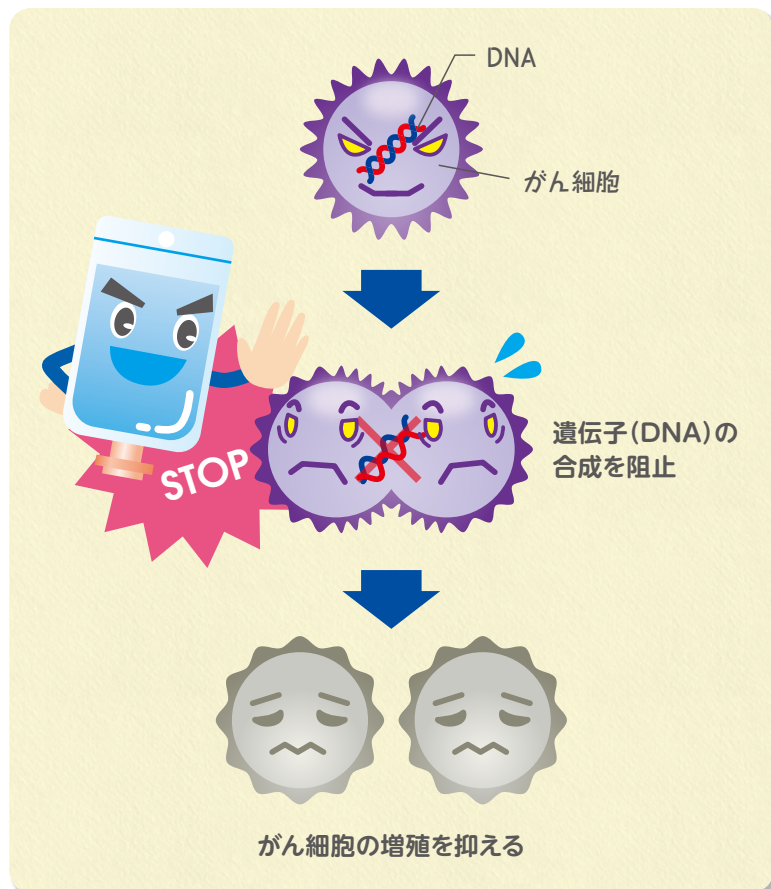
がんの治療の悩みなどございましたら、お気軽に薬剤師や担当医にご相談ください。

監修：金沢大学 消化器・腫瘍・移植再生外科 准教授

伏田 幸夫

オキサリプラチンについて

オキサリプラチンは、日本で開発された白金製剤と呼ばれる種類の抗がん剤です。がん細胞が増殖する際に行われる遺伝子(DNA)の合成を阻止して、がん細胞の増殖を抑えたり、死滅させたりする働きがあります。



オキサリプラチンを用いた 抗がん剤治療

オキサリプラチンは、下記のような薬と一緒に使われます。

オキサリプラチンと一緒に使われる主な薬

● フルオロウラシル

● カペシタビン ● S-1 (エスワン)

代謝拮抗薬と呼ばれる種類の抗がん剤です。オキサリプラチンとは異なる方法で遺伝子(DNA)の合成を阻止します。

● レボホリナート

フルオロウラシルと一緒に使われる薬で、フルオロウラシルの効果を高める働きがあります。

● イリノテカン

トポイソメラーゼ I 阻害薬と呼ばれる種類の抗がん剤です。オキサリプラチン、代謝拮抗薬とは異なる方法で遺伝子(DNA)の合成を阻止します。

● ベバシズマブ

分子標的薬と呼ばれる薬です。がん細胞に栄養や酸素を届ける血管が作られるのを阻止します。

● セツキシマブ

● パニツムマブ

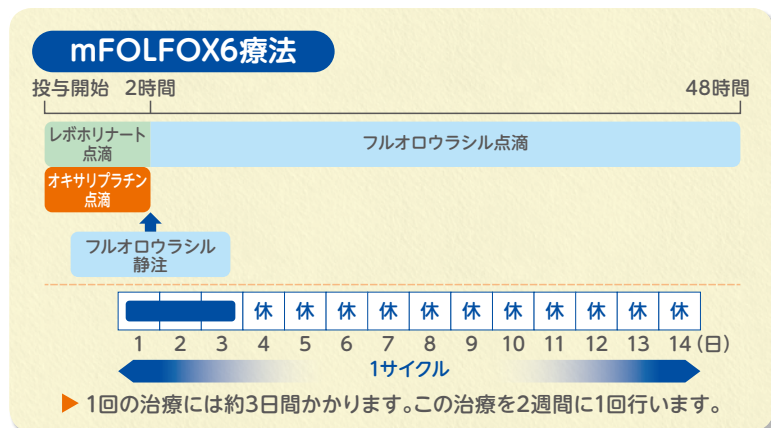
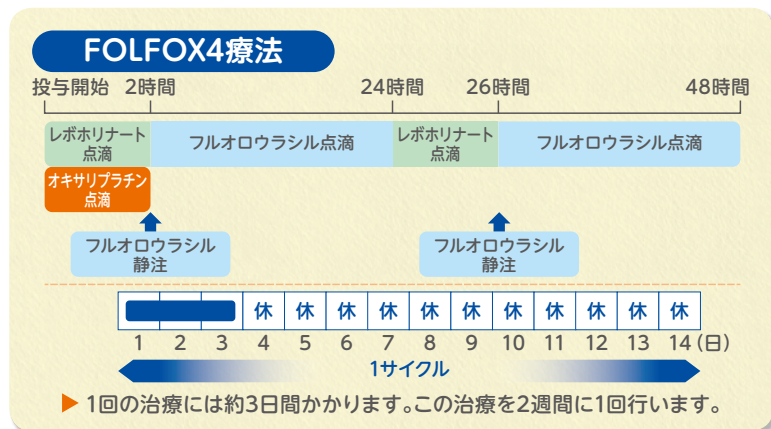
分子標的薬と呼ばれる薬です。がん細胞の増殖に関わるタンパク質の働きを阻止します。

オキサリプラチンを用いた 抗がん剤治療

大腸がん

①FOLFOX療法(フォルフォックス療法)

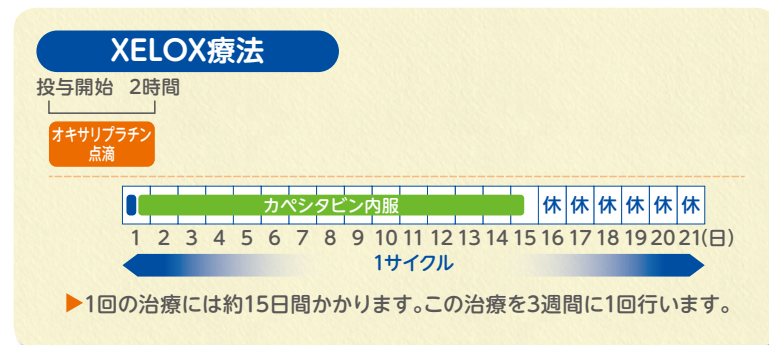
「フルオロウラシル」、「レボホリナート」と組み合わせて行う治療法です。治療スケジュールは、主に下記の2つがあります。



大腸がん
胃がん

②XELOX療法(ゼロックス療法)

飲み薬の「カペシタビン」と組み合わせて行う治療法です。



①FOLFOX療法、②XELOX療法の治療期間などについて

<治療期間>

- 大腸がん手術後の場合は、通常、6ヵ月間行います。
- 手術ができない大腸がん・胃がんの場合では、患者さんによって異なります。詳しくは主治医にお尋ねください。

<分子標的薬の投与>

手術ができない大腸がんの場合、各治療法の開始前に分子標的薬(ペバシズマブ、セツキシマブ、パニツムマブのいずれか)を投与することがあります。詳しくは、主治医にお尋ねください。

オキサリプラチンを用いた 抗がん剤治療

大腸がん
胃がん

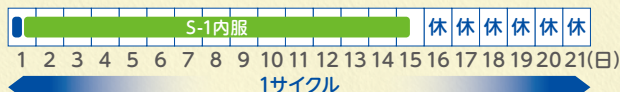
③SOX療法(ソックス療法)

飲み薬の「S-1 (エスワン)」と組み合わせて行う治療法です。

SOX療法

投与開始 2時間

オキサリプラチン
点滴



▶1回の治療には約15日間かかります。この治療を3週間に1回行います。

③SOX療法の治療期間などについて

<治療期間>

患者さんによって異なります。詳しくは主治医にお尋ねください。

<分子標的薬の投与>

大腸がんの場合、各治療法の開始前に分子標的薬(ペバシズマブ)を投与することがあります。詳しくは、主治医にお尋ねください。

睥がん

④FOLFIRINOX療法(フォルフィリノックス療法)

「フルオロウラシル」、「レボホリナート」、「イリノテカン」と組み合わせて行う治療法です。

FOLFIRINOX療法

投与開始 2時間 2.5時間 4時間

50時間

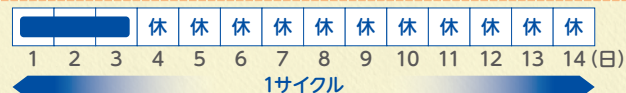
オキサリプラチン
点滴

レボホリナート
点滴

イリノテカン
点滴

フルオロウラシル
静注

フルオロウラシル点滴



▶1回の治療には約3日間かかります。この治療を2週間に1回行います。

④FOLFIRINOX療法の治療期間について

<治療期間>

患者さんによって異なります。詳しくは主治医にお尋ねください。

化学療法を受けられる前に

化学療法を実施すると、一時的に腸の粘膜に傷害が起きたり、免疫細胞が減少したりすることがあります。

腸には多くの免疫細胞が存在しますので、普段から腸の状態を整えておくことで化学療法による傷害を少なくしたり、回復を早くしたり、また感染を少なくしたりできると考えられます。

その点で、ヨーグルトや乳酸菌飲料などを飲むことは腸の状態を整える上でいいことだと考えられます。

また、腸の粘膜や免疫細胞は傷害を受けたときに骨格筋から栄養が補給されることで修復が行われやすくなると言われています。

ご自身の体調に応じて、普段から骨格筋量を増やすような軽い運動を心掛けるといいでしょう。

<軽い運動の例>

●つま先立ち



●スクワット

スクワットができないときは、手をつけて立ち座りの動作を繰り返す



オキサリプラチン点滴中の 注意事項

オキサリプラチンの点滴を安全に行うために、点滴中は下記のことにご注意してください。

下記のような症状がみられましたら、**すぐに医療スタッフを呼んでください。**

- | | |
|---------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 皮膚のかゆみ | <input type="checkbox"/> のどのかゆみ |
| <input type="checkbox"/> 蕁麻疹 | <input type="checkbox"/> 息苦しさ |
| <input type="checkbox"/> 声のかすれ | <input type="checkbox"/> 動悸 |
| <input type="checkbox"/> くしゃみ | <input type="checkbox"/> 意識の混濁 |

点滴の針を刺している部位に下記のような症状がみられましたら、**すぐに医療スタッフを呼んでください。**

- | | |
|-----------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 痛み | <input type="checkbox"/> 皮膚が赤い |
| <input type="checkbox"/> 腫れ | <input type="checkbox"/> 違和感 |

吐き気を感じましたら、我慢せずに医療スタッフを呼んでください。

体が冷えると副作用が出やすくなりますので上着を着用するなどして、からだを冷やさないようにしてください。

副作用について

抗がん剤治療を受けると何らかの副作用があらわれることがあります。いつ頃、どのような副作用が起こるかは、下記のようにある程度は分かっています。事前に起こりやすい副作用を確認し、適切な対策を行うことで、症状を和らげ、より良い治療を続けることができます。

次のページからは、主な副作用とその対策を記載していますので、確認してください。

起こりやすい副作用と、およその時期

自覚症状がある副作用			
アレルギー	末梢神経症状 吐き気 嘔吐 食欲不振	感染症 出血しやすい 手足症候群 口内炎 下痢	貧血 色素沈着 流涙
投与 または点滴	当日	当日～ 数日	数週間～ 数カ月
		白血球減少 血小板減少	赤血球減少
自覚症状が現れにくい副作用			

オキサリプラチンの主な副作用

末梢神経症状

起こりやすい時期

点滴当日から数日間に、多くの患者さんに起こります。



症状

- しびれ
- 刺すような痛み
- 感覚異常
- のどが締め付けられるような感覚



冷たい空気や物に触れることで症状が起こりやすくなる・悪化する

- 冷たい食べ物や飲み物は避けましょう。
- 冷たい空気や物に、皮膚が直接触れないようにしましょう。

2～3日で改善することが多いですが、治療を長く続けていると改善が遅れたり、下記のように症状が悪化したりする場合があります。

- 手、足などがしびれて文字を書きにくい
- ボタンをかけにくい
- 飲み込みにくい
- 歩きにくい

このような症状がみられましたら、我慢せずに医療スタッフに相談してください。

オキサリプラチンの主な副作用

吐き気／嘔吐／食欲不振

起こりやすい時期

点滴当日から数日間に、多くの患者さんに起こります。



症状

- 吐き気がする
- 嘔吐する
- 食欲がない
- 食べられるときに少量ずつ食べましょう。
- 消化の悪いものは避けましょう。

感染症(白血球減少)

起こりやすい時期

点滴後数日から数週間に、起こることがあります。



症状

- 発熱
- 寒気
- 咳
- のどの腫れ・痛み
- 手洗い・うがい・マスクなどの風邪対策をしましょう。
- (38℃以上に)発熱した場合は、医療スタッフに相談してください。

出血しやすい(血小板減少)

起こりやすい時期

点滴後数日から数週間に、起こることがあります。



症状

- 出血しやすい(口や鼻など)
- 出血が止まりにくい
- あざがしやすい
- 身に覚えのないあざ、血便がある場合は、医療スタッフに相談してください。

貧血(赤血球減少)

起こりやすい時期

点滴後数週間から数ヵ月間に、起こることがあります。



症状

- 白目、唇が青くなる
- めまい
- 動悸
- 息切れ
- 睡眠や休息を十分にとりましょう。

オキサリプラチンの主な副作用

下痢

起こりやすい時期

点滴後数日から数週間に、起こることがあります。

症状

- 軟便・水様便になる
- 排便の回数が増える
- 腹痛
- 脱水症状にならないよう、こまめに水分をとりましょう。
- 消化のよいものを食べましょう。



前頁以外にも、下記のような重大な副作用が起こることがあります。このような場合は、すぐに医療スタッフに連絡してください。

- 発熱、から咳(かわいた咳)、呼吸困難[間質性肺炎・肺線維症]
- 発熱、貧血症状、紫斑[溶血性尿毒症症候群]
- 鼻血、歯ぐきの出血、四肢などの皮下出血[薬剤誘発性血小板減少症]
- 貧血症状、皮膚や結膜などが黄色くなる、赤褐色尿[溶血性貧血]
- 視野の中に見えない部分がある、目のかすみ[視野欠損・視野障害・視神経炎・視力低下]
- 局所の痛み、圧痛、紅斑[血栓塞栓症]
- 動悸、胸部不快感、急激な前胸部の圧迫感[心室性不整脈・心筋梗塞]
- 激しい腹痛、腹部膨満感、吐き気[肝静脈閉塞症]
- 尿量減少、むくみ、頭痛[急性腎不全]
- ふらつき、言語障害、けいれん[白質脳症]
- 意識障害、手の羽ばたき振戦(震え)[高アンモニア血症]
- 手足の筋肉の痛み、脱力感、赤褐色尿[横紋筋融解症]
- 耳がきこえにくい、耳鳴り、声や音がきこえない[難聴]
- 全身倦怠感、食欲不振、皮膚や結膜などが黄色くなる[肝機能障害]

組み合わせて使用する薬の 主な副作用

手足症候群(フルオロウラシル・カペシタビン)

起こりやすい時期

点滴や内服開始後数日から数週間後に起こることがあります。



症状

手や足が

- ヒリヒリ・チクチクする
- 赤く腫れる
- ひび割れや水疱ができる
- 手足に保湿クリームを塗って乾燥を防ぎましょう。
- 手足に圧力などの刺激を与えないようにしましょう。

口内炎(フルオロウラシル・カペシタビン・S-1)

起こりやすい時期

点滴や内服開始後数日から数週間後に起こることがあります。



症状

口の中が

- 腫れる
- ただれる
- 痛む
- 口の中を清潔に保ち、うるおった状態を保ちましょう。

色素沈着(フルオロウラシル・S-1)

起こりやすい時期

点滴後数週間から数ヵ月間に、起こることがあります。



症状

- 皮膚や爪の色が黒味を帯びる
- 黒い斑点状のものがあらわれる
- 直射日光を避け、日焼け止めクリームを使用するなどしましょう。

流涙[涙がでる](S-1)

起こりやすい時期

点滴後数週間から数ヵ月間に、起こることがあります。



症状

- 涙がでる
- 目が充血する
- 目が痛い
- 見にくい
- 症状がみられましたら、医療スタッフに相談してください。

組み合わせで使用する薬の 主な副作用

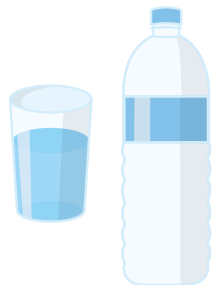
下痢(イリノテカン・フルオロウラシル)

起こりやすい時期

点滴当日から数日間に、
起こることがあります。

症 状

- 軟便・水様便になる
- 排便の回数が増える
- 腹痛



- イリノテカンでは、特に下痢が起こりやすいです。
- 症状がみられましたら、医療スタッフに相談してください。



分子標的薬の主な副作用

ベバシズマブ

- 高血圧
- 鼻血などの粘膜からの出血
- 尿にタンパクがでる

<重大な副作用(頻度は少ない)>

- 消化管に穴があく[消化管穿孔]
- 傷口が治りにくくなる[創傷治癒遅延]
- 腫瘍(がん)からの出血
- 動脈や静脈の中に血のかたまりができる[深部血栓塞栓症など]
- けいれん発作、視野の異常など[可逆性後白質脳症候群]

セツキシマブ・パニツムマブ

- にきびのような発疹、皮膚の乾燥・炎症
- イオン(電解質)バランスの異常
- 結膜炎・角膜炎などの目の異常

<重大な副作用(頻度は少ない)>

- 肺の炎症[間質性肺炎]
- 薬に対するアレルギー反応[インフュージョン・リアクション]
- 心臓の機能低下[狭心症・心筋梗塞](主にセツキシマブ)

Memo

緊急の連絡先

病院・医院名

電話番号

担当医師名 科

お問い合わせ窓口

memo

発行：2016年

監修：金沢大学 消化器・腫瘍・移植再生外科 准教授
伏田 幸夫

提供：東和薬品株式会社

本冊子の内容を許可なしに複製、複写(コピーなど)、
転載することは法律で認められた場合を除き禁じられて
います。
